

(別紙 9)

食育及び食生活に関する調査について

対象者に対して、次の調査を実施し、集計・記録することとする。

ただし、小学校の児童のみを対象とした活動のように、対象者の大部分が18歳未満である場合は、この調査を実施する必要はないが、親子料理教室のように、子どもと同数程度の保護者の参加がある場合は、保護者のみを対象に調査を実施する。

なお、食育関係の研究等の目的で、これに新たな調査項目を加えて調査することができる。

<属性>

性別	男性	女性					
年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上

設 問	回 答
問1 あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていますか。	ア 言葉もその意味も知っている イ 言葉知っているが、意味は知らない ウ 言葉も意味も知らない
＜食育とは？＞ 「食育」は、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。 その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する基礎を身に付けたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることが含まれます。	
問2 あなたは、日頃から「食育」を何らかの形で実践していますか。	ア 積極的にしている イ できるだけするようにしている ウ したいと思っているが、実際にはしていない エ したいと思わないし、していない オ わからない
問3 主食（ごはん、パン、麺など）、主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）、副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った料理）を3つそろえて食べることが1日2回以上あるのは、週に何日ありますか。	ア ほぼ毎日 イ 週に4～5日 ウ 週に2～3日 エ ほとんどない
問4 あなたは、安全な食生活を送るために、「食の安全・安心に関する基礎的知識（※）」をもとに、どの程度、判断していますか。	ア いつも判断している イ 判断している ウ あまり判断していない エ 全く判断していない
※「食の安全・安心に関する基礎的知識」の例 ・食品に表示されている消費期限、アレルギー表示などを確認すること、また、表示されている保存方法や使用方法を守ること ・「賞味期限」を過ぎた食品であっても、必ずしもすぐに食べられなくなるわけではないため、においや見た目など食品の状態に応じて判断すること ・生肉や生魚を取り扱う際、食中毒に気をつけること	

問5 あなたは、産地や生産者を意識して農
林水産物・食品を選んでいきますか。

ア いつも選んでいる

イ 時々選んでいる

ウ あまり選んでいない

エ 全く選んでいない